

令和6年度 印旛地区教育研究会
国語科「話すこと・聞くこと」分散会提案資料

研究主題

自分自身の考えをわかりやすく伝えるように
表現を工夫する指導
～機器を用いた指導実践～

成田市立 西中学校



1 研究主題

自分自身の考えをわかりやすく伝えるように表現を工夫する指導

～機器を用いた指導実践～

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2019年に開始されたGIGAスクール構想では、「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」が打ち出された。国語科でも「情報機器の活用に関する事項」にて「内容の取扱いについての配慮事項指導に当たっては、生徒がコンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会を設けるなどして、指導の効果を高めるよう工夫すること。」とコンピュータや情報通信ネットワークの活用について示している。情報化社会の進展を見据え、国語科の学習においても、情報収集や情報発信の手段として、インターネットを情報検索ツールとしての有効活用、コンピュータによる発表資料の作成やプロジェクトによる提示などコンピュータや情報通信ネットワークを活用する機会を設けることが重要であるとされている。先に示した、国語科の目標の実現にGIGAスクール事業で示されている手段は有効であると考えられる。これからの未来を生きる生徒にとって、自身の既存の力に工夫を足していけば、さらなる力が発揮できる可能性を示していきたいと考える。

(2) 学校教育目標から

学校教育目標	「前へ」 誰一人取り残すことなく、前進し続ける学校		
めざす生徒像	◎感性豊かな生徒	「か」感性	
	◎生命を大切にし、心身を鍛える生徒	「た」体力	
	◎意欲を持って、学習に取り組み、自分を高める生徒	「ち」知性	
	◎思いやりがあって、マナー・挨拶を大切にす生徒	「に」人間力	

わが校では「研究主題 「新たな学びの場」の創造～全教育活動での個別最適な学びと協働的な学びの一体化を通して～」という主題を掲げている。その実践として、全国の小中高등학교、約200校のリーディングDXスクール事業の重点校に指定され、研究を進めてきた。リーディングDXスクールは、GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十分に活用し、児童生徒の情報活用能力の育成を図りつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や校務DXを行い、全国に事例を展開するための事業である。定期で滞在しているICT支援員の協力も得ながら、有効なダブル

ット利用やクラウド型アプリの利用に取り組んでいる。生徒はタブレットを毎日持ち帰り、授業中は机の上に置き、気になった項目は指示なしでも調べるなど、文房具のひとつとして学習に活かしている。短長期休みの課題や、授業・部活動等の連絡事項や委員会、行事での利用も常に行っている。この環境を活かし、今後の国語科の授業での実践的な取り組みに、少しでも役立つ研究を行っていきたい。

(3) 生徒の実態から

「挑戦が西中を楽しくする。」というポリシーのもと、タブレットを主なツールとして、様々な取り組みを行ってきた。利用するソフトウェアも、ロイロノート、PowerPoint、keynote、Canva、capcutなど生徒の扱いやすいものを積極的に取り入れながら行うことで、関心意欲を高めながら実践してきた。タブレット練習など基礎的な力の育成を朝活動時に取り入れていたが、何より常用することによって、デジタルリテラシーが向上した。基本的なITスキルとしてデバイス（パソコン、スマートフォン、タブレット）の操作方法を理解し、インターネットを使った情報検索やウェブブラウザ機能ができ、目的に合ったデジタルツールを選び効率的に活用できる能力が身についている生徒が多い。一方で『話す聞く』の分野でとりわけ、『話すこと』に苦手意識を持っている生徒が多くいる。「話す内容を考えることが苦手。」「声を出して表現することに自信がない。」という声が多くあがってくる。文科省の『国語科の指導におけるICTの活用について』ではまさにこれらの課題にICT機器が有効利用できる場面があると示されている。これらのことから、意識的な『話す聞く』分野でのICT活用を行い、生徒が「課題を乗り越えられる」という実感を得てほしい。

① 授業におけるICT活用状況

以下は、令和5年度全国学力・学習状況調査の質問に対する回答結果である。

表の見方は以下の通りである。

1 段目：学校の生徒数

2 段目：学校の生徒数の割合(%)

3 段目：都道府県別(公立)の生徒数の割合(%)

4 段目：全国(公立)の生徒数の割合(%)

質問 番号	質問事項	選択肢			
		1 あてはまる	2 どちらかというにあてはまる	3 どちらかというにあてはまらない	4 あてはまらない
(33)	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか、	1	2	3	4
		105	23	4	1
		78.4	17.2	3.0	0.7
		17.9	33.7	32.9	12.3
(34)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つか、	28.1	33.0	26.4	9.6
		95	34	3	2
		70.9	25.4	2.2	1.5
		56.7	36.6	4.6	2.0
		58.7	34.6	4.5	2.0

(33) の頻度は毎時間の「授業の振り返り」にタブレットを使用しており、教員の資料提示でも頻繁に使用された。また、どの教科でもタブレットにてまとめを行う授業が頻繁に行われた。ICT活用の機会は多く、勉強に活用している生徒が多い結果である。

②『話す』場面における資料の利用について

令和5年度全国学力・学習状況調査における『話すこと・聞くこと』に関連する質問の内容と結果は以下のとおりである。
表の見方は先と同じである。

質問番号	質問事項	選択肢			
		1 あてはまる 3 どちらかというどあてはまらない	2 どちらかというどあてはまらない	3 あてはまる	4 あてはまらない
(36)	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	1	2	3	4
		21	46	34	23
		15.7	34.3	25.4	17.2
		21.0	38.9	24.6	12.3
(48)	国語の勉強は大切だと思いますか	21.9	40.2	23.6	11.2
		94	35	3	1
		70.1	26.1	2.2	0.7
		57.8	33.8	5.9	2.2
(50)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	60.0	32.4	5.3	2.1
		80	43	8	3
		59.7	32.1	6.0	2.2
		49.1	38.0	9.5	3.1
(52)	国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか	52.3	36.4	8.3	2.7
		22	64	38	9
		16.4	47.8	28.4	6.7
		17.5	45.0	29.9	7.1
(53)	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	19.3	46.6	27.2	6.4
		24	61	36	12
		17.9	45.5	26.9	9.0
		17.2	43.3	30.6	8.3
		19.4	44.5	27.9	7.6

質問(36)や(52)、(53)では、ICT機器を用いる機会が多いが、それを「話すこと」へ活用することができない生徒の姿が見受けられる。

3 研究仮説

《仮説1》

機器を用いて思考や表現方法の幅を広げ発表を行う中で、自身の活動を客観的に振り返る機会や授業全体を振り返る機会を重ねることで、よりよい表現につながるのではないか。

「話すこと・聞くこと」は、「自身の考えを形にできるようになる」ことが重要である。「話す内容の形成」「スピーチ原稿の作成」、「話す技法（大きな声を出す・はっきり発音する・話すスピード等）」においてつまずきを感じ、「話すことが苦手だ」とする生徒が多い。そこで、機器を用い、多くの考えを知り比較・検討をしながら、伝えたいことを明らかにしていく中で「伝える内容」を形成したり、原稿を推敲作業が比較的容易な機器を用いて作成したり、「話す技法」を磨くために録画・録音機能で振り返りを行うことで、表現への自信につながるのではないかと考えた。

「話す」ということは、種(話す内容)がなくはできないことである。その種を生み出す力を育成したい。目指すところとしては、「話すこと」が苦手な生徒は原稿を目で追いながらも周囲に聞こえる声で発表できるようにし、「話すこと」が得意な生徒はより周囲に伝えたいことが伝わる姿をイメージしながら話せるように指導していきたい。

「聞くこと」の能力の育成に、振り返りが非常に有効であると感じる。発表の時間の後は毎回、感想や発表に対しての考えを持たせる振り返りを行う。発表の機会を様々な単元内で持ち、聞き手が自分自身の中で考えを巡らせ、それを他者へフイードバック（質問や考えの提示）をする作業を繰り返す。タブレットでの資料提示は、ポイントを押さえて聞く力を育てる大きな補助となる。また、タブレットでメモをしながら話を聞くことは容易だと感じる生徒も多く、メモの内容は他者へのフイードバックに役立ち、聞く力を伸ばすことにつながると思われる。

〈手立て〉【ICT機器の活用】

- ロイロノート、PowerPoint、keynote、Canva、capcutなど多様なソフトウェアを用いた発表の場を設定する。(以下に活用方法を記載。)
- ロイロノートを用いた、成果の共有を行う。
- 録画・録音素材を利用した振り返りを行う。
- 振り返りに『スクリーンショット』を使用し、心の天気(自身の調子)と成果(授業内容分析)を言葉で残す。教科担当がコメントを返し、評価にも利用していく。

4 国語科 研究基本構図

実態 ・ 話す内容を考えることが苦手な生徒が多い。

・ 声に出して表現することに自信がない生徒が多い。

主題 自分自身の考えをわかりやすく伝えるように表現を工夫する指導

～機器を用いた指導実践～

仮説 機器を用いて思考や表現方法の幅を広げ、発表して、振り返る回数を重ねることによりよい表現につながるのではないか。

手立て【ICT機器の活用】

- ロイロノートにて共同・個人で意見の整理や発表原稿の作成。PowerPoint、keynote、Canva、capcut など多様なソフトウェアを用いて原稿作成、発表資料の制作・提示を行う。(スライド・動画の提示ツールとしても利用する。)
- ロイロノートを用いた、成果の共有を行う。
- 録画・録音素材を利用した振り返りを行う。

目指す生徒像：「伝える内容」を形成する力を身につけ、「話す技法」を磨く術を学び、自信を持って発表できる生徒

「西中教育DX推進について」

～子供たちの未来に向けたICT活用の日常化と心に寄り添うためのDX推進のあり方について～



1

西中が目指すところ



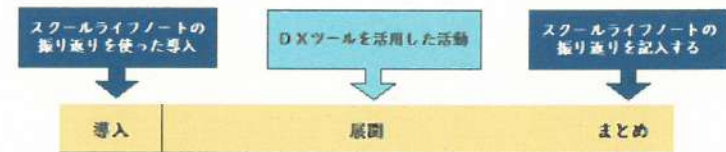
2

西中DX推進グランドデザインのイメージ



3

1. 活用の日常化(学習編)



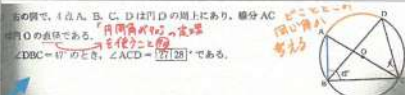
- ・自分の学習、授業を振り返る
- ・自らの学びを調整する力を育成し、『**学びに向かう力**』を高める

4

過去の振り返りを導入で確認する

2024年1月17日 (水)

土曜 コキ 2024年01月17日 2時間目 3年D組 学習ノート/数学
問題に書いてある条件で解けない場合は補助線を引くようにする。



2024年1月18日 (木)

土曜 コキ 2024年01月18日 4時間目 3年D組 学習ノート/数学
図形から大体の予想を立てること、マーク式は計算ミスを防ぎやすいので解答欄に当てはまるかを考える

数学の一覧を見て内容を確認する。

2024年1月12日 (金)

土曜 コキ 2024年01月12日 5時間目 3年D組 学習ノート/数学
どれとどれが相似な図形かを考えて比を使う

授業の中でポイントや復習したい内容、大切な定理など画像をつけている。

数学科 展開の例



問題の解き方をグループ毎に話し合い 解き方ごとにグループに分け 解き方を比較して発表

【DXツールの活用】

- ・画面で教科書の内容を提示し、指示の見える化
- ・生徒のノートを映し出し、直接書き込み問題の確認
- ・課題をタブレットで提出、共有、意見交換
- ・個々の力に合わせたヒントの提示

生徒は…気づきを言葉にする

伊藤悠希 2023年7月3日 17:56
文字式と同じように考えて、計算をしよう！

√同士は足し算は√を文字だと考えて、 $5a+3a=8a$ と同じ考え方で計算すればいいことがわかった。
 $\sqrt{a}+\sqrt{b}$ と $\sqrt{a+b}$ の数は違うということがわかった

自分の伸びや課題をまとめる

伊藤悠希 2023年4月29日 21:14
素晴らしい！！見かけることは、この分野でとても大切なことですね。

展開の計算をもっと早くできるようにしたい。
公式が使える問題の見分けがつけられるようになった。

他の経験や学習と結びつける

平方根を利用して、コピー用紙の比を求めることができました。
平方根を使えば、整数で求められない比も求められることがわかりました。
今まで、コピー用紙の比率は、綺麗な整数の比になると思っていたので、まさか√を使うということに驚きました。
家で、コピー用紙を使って計算してみようと思います。

教員は…コミュニケーションをとる

時間目 数学

反省することはその授業が終わったらすぐにスクールライフノートを入力する。
二次方程式の解き方はわかるようになってきたんですが、伊藤先生が2学期から始めるところの公式を見て、根号が入っているから2次元目を復習しようと思います！
伊藤先生に聞きたいこととして、受験を受けなくても私は夏休みこれらの自分のために勉強をしておこうと思っています。そこで、昨日の学年集会での勉強法をするともに、数学の学習の効率良い学習方法を教えて欲しいです！
1学期ありがとうございました。
2学期もよろしくお祈りします。

生徒の意見を受け止め、授業改善に生かす

2023年7月12日 (水) 5時間目 数学

なんでやり方教えてくれないですか？
教えられなかったせいで、解けなかったです。

この日の机間指導で、その生徒に声をかけなかったことが原因でした。次の授業から、意識して声をかけたり、友達に声をかけてもらったりしました。

2023年7月5日 (水) 3時間目 数学

遠すぎて全然分からなかった。

次の授業の最初に、前回の内容をもう一度確認しました。
T2の先生にお願ひして、問題を解くときに支援してもらいました。

生徒の主体的活動の推進

- ICT委員会を設置し、学校生活の様々な場面で生徒主体で映像を撮影し、全体のフィードバックに活用している。
- 学校行事では、参観できない保護者のためにICT委員会が動画を撮影し、YouTube配信
- 活動を通して、具体的な指示の伝え方や画面の奥に隠れている、保護者の気持ちに応えようとする姿が、生徒に見られるようになった。



9

∞

「誰一人取り残さない」生徒支援体制の充実



10

「誰一人取り残さない」生徒支援体制の充実

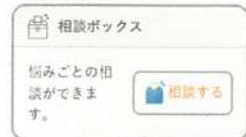
- 生徒一人一人のわずかな変化に気づける環境整備



西中学校お悩み相談窓口

西中学校の先生方はみなさんのためです。抱えている悩みを先生方に相談してみませんか？

このホームページでは、すべての相談内容からのお悩みが自動的に収集されます。 [設定を変更](#)



11

「誰一人取り残さない」生徒支援体制の充実

- 生徒一人一人のわずかな変化に気づける環境整備



12

「誰一人取り残さない」生徒支援体制の充実

・生徒一人一人の見える力を可視化する

2023/11/27-2023/12/01実施結果

2023/11/27:2023/12/01



13

教育環境整備と働き方改革の観点

【スプレッドシート】

1. 朝の打ち合わせ
2. 安全点検簿
3. 備品点検簿

【Google Classroom】

1. 学級で全校、学年、学級、部活動、委員会で指導、確認したい内容を発信
2. 職員間でも確認したい内容を発信
3. 生徒委員会ごとのClassroomの活用

【Google Forms】

1. 各種行事の出欠席
2. 授業、教育評価アンケート
3. 指導案作成の際のアンケート
4. 学級組織アンケート
5. 保護者面談、三者面談の日程作成

【Google カレンダー】

1. 夏休みの部活動ごとの予定表作成

【デジタル採点システム】

1. 定期テスト時の採点
2. CBT方式で実施

【Google Meet】

1. 欠席生徒への授業配信
2. 職員会議のオンライン開催

【ドライブ内のフォルダ】

1. 画像、ファイル、提出物

端末のクラウドの活用によって変化

14

これまでの手応え

- ・生徒とのコミュニケーションツールとして定着
- ・不登校支援の引き出しの増加
- ・学びの多様化
- ・生徒のSOSの早期発見
- ・校務の効率化

15

課題と今後の展望

- ・さまざまなデータのダッシュボード化
- ・職員のマインド、デジタルスキルの向上
- ・さらなる生徒主体の活動

16

国語科 重点目標

自分自身の考えをわかりやすく伝えるように表現を工夫する指導
～ 機器 を 用 い た 指 導 の 実 践 ～

中学校入学し間もない時期は、クラスの人間関係にまだ緊張感があると思われるので、お気に入りの一品の紹介をとおして、お互いを知る機会としていきたい。そのためには、お気に入りの一品の背景にある理由やエピソードをわかりやすく伝えることが必要となる。従来のスピーチを行わせることに加え、画面上にお気に入りの品の写真や動画を載せることで、より良く伝えることができる考えた。

学習指導要領との関連：知識・技能①ウ、思考・判断・表現A①ア、思考・判断・表現A①イ、思考・判断・表現A②ア

◇ 本単元における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

○ 「知識及び技能」の習得の場面

本単元では、事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話の中で使うことを目指している。タブレット内に入力した原稿を推敲し合うことで、より良い表現を考えさせていくことを目指す。

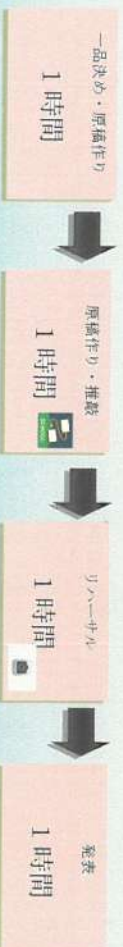
○ 「思考力、判断力、表現力等」の育成の場面

スピーチという場面に応じて、どのような表情や声量、声のトーン、身振りなどで話すか効果的なのかを考えさせる。そのためにペアとなって、リハーサルの様子を動画で撮り、スピーチの仕方を改善させていきたい。

○ 「学びに向かう力、人間性等」の涵養の場面

自身のリハーサルの様子を動画で見ること、どのように工夫すればより良く伝わるか改善させていきたい。また、スピーチ後にタブレットを活用し自身の活動の振り返りをさせることで、調整力を身につけさせたい。

◇ 単元授業計画・使用するアプリ



- 授業のポイント
- ◆ 伝えたい内容を明確にする。
- ◆ 言葉や話し方を工夫する。

○ ICT機器の活用

◆ リハーサルの様子を撮影し、自身のスピーチ改善につなげた。また、日々の取り組みの振り返りを行わせ、次の授業へつなげた。

戻る

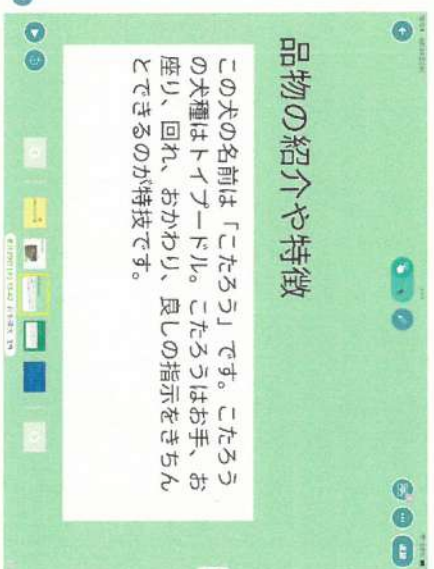
お気に入りの一品 1A

提出順 回答を閉す 回答共有中 一括返却

締切 選択/比較

<p>ロイロノートでみんなに見せる資料を作りましょう。次のシートから1枚になります。工夫して、素敵な資料を作ってくださいね!</p> <p>AN氏名 「ギター」</p>  <p>2023年6月22日(水) 14:51 1/7</p>	<p>お気に入りの写真</p> <p>AN氏名 「タイトル: グローブ」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:35 1/3</p>	<p>「スラムダンクの漫画」</p> <p>AN氏名 「映画機」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:30 1/6</p>	<p>「スマートホン」</p> <p>AN氏名 「スマホ」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:31 1/6</p>
<p>ロイロノートでみんなに見せる資料を作りましょう。次のシートから1枚になります。工夫して、素敵な資料を作ってくださいね!</p> <p>AN氏名 「電子ドラム」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:33 1/7</p>	<p>「タイトル: フォotball」</p> <p>AN氏名 「タイトル: フォotball」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:34 1/4</p>	<p>ロイロノートでみんなに見せる資料を作りましょう。次のシートからは1枚になります。工夫して、素敵な資料を作ってくださいね!</p> <p>AN氏名 「タイトル: フォotball」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:35 1/5</p>	<p>ロイロノートでみんなに見せる資料を作りましょう。次のシートからは1枚になります。工夫して、素敵な資料を作ってくださいね!</p> <p>AN氏名 「スマホ」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:37 1/5</p>
<p>「スマホ」</p> <p>AN氏名 「タブレット」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:39 1/5</p>	<p>「犬」</p> <p>お気に入りの一品</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:42 1/5</p>	<p>「色紙」</p> <p>AN氏名 「色紙」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:43 1/4</p>	<p>「ユニフォーム」</p> <p>AN氏名 「ユニフォーム」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:43 1/4</p>
<p>ロイロノートでみんなに見せる資料を作りましょう。次のシートからは1枚になります。工夫して、素敵な資料を作ってくださいね!</p> <p>AN氏名 「ギター」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:52 1/7</p>	<p>ロイロノートでみんなに見せる資料を作りましょう。次のシートからは1枚になります。工夫して、素敵な資料を作ってくださいね!</p> <p>AN氏名 「ギター」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:55 1/5</p>	<p>「椅子」</p> <p>AN氏名 「椅子」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:57 1/6</p>	<p>ロイロノートでみんなに見せる資料を作りましょう。次のシートからは1枚になります。工夫して、素敵な資料を作ってくださいね!</p> <p>AN氏名 「ギター」</p>  <p>2023年6月29日(水) 13:59 1/7</p>
<p>ロイロノートでみんなに見せる資料を作りましょう。次のシートからは1枚になります。工夫して、素敵な資料を作ってくださいね!</p> <p>AN氏名 「ギター」</p>  <p>2023年6月29日(水) 14:14 1/7</p>	<p>「スマホ」</p> <p>AN氏名 「スマホ」</p>  <p>2023年6月29日(水) 19:11 1/5</p>	<p>「スマホ」</p> <p>AN氏名 「スマホ」</p>  <p>2023年7月3日(月) 11:48 1/5</p>	<p>共用アカウント08 西中</p>
<p>AN氏名 「おまけ」</p>  <p>2023年7月3日(月) 11:54 1/6</p>	<p>AN氏名 「おまけ」</p>  <p>2023年7月3日(月) 11:54 1/6</p>		

お気に入りの一品



A組氏名

「 犬のこたろう

」



お気に入りの理由

・僕が犬欲しいと言った時、お母さんとお父さんがこのこたろうを飼っていいよと言ってくれました。その時から大事に育ててきた大事な犬なのでダントツでお気に入りです。

根拠となるエピソード

実は最初は飼うことをだめと言われていましたが、サライイヌで学校から帰ってきたらお母さんがこたろうを抱っこして待ち構えていました。僕はその時今まで1番大きな声を出したと言っていました。

国語科 重点目標

自分自身の考えをわかりやすく伝えるように表現を工夫する指導
～ 機器を用いた指導の実践 ～

ICT化が進む中で、中学生が触れるメディアも変化してきている。動画サイトを視聴をする時間が増える一方、ラジオなどに触れる機会は減っているように感じる。ラジオのように音声だけで情報を受け取る場合には、想像力での補充が必要となる。本単元では、自身の伝えたい内容を「声」だけで伝える経験をさせることにより、「声で伝える」ことの難しさや有用性を理解させたい。そして、社会生活の中での「声」の重要性にも気づかせたいと考える。

学習指導要領との関連：知識・技能②イ、思考・判断・表現A1①ア、思考・判断・表現A1①ウ、思考・判断・表現A2①ア

◇ 本単元における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

○ 「知識及び技能」の習得の場面

自分の生活を他者と関係づける際に、タブレットを活用した調べ学習を行う。インターネットで検索をする場合、多くの情報の中から取捨選択しなければならぬ。そこで、どのような言葉で検索をすると効率的なのかを学ばせる。

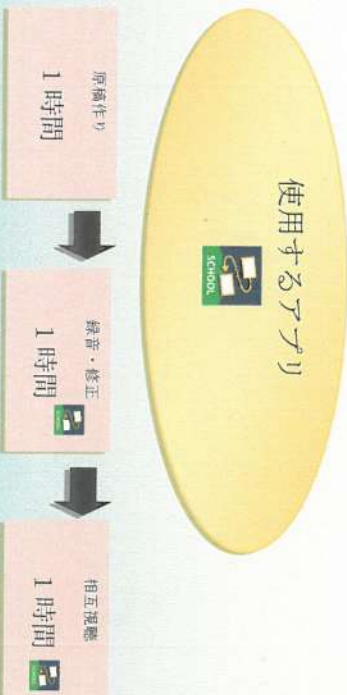
○ 「思考力、判断力、表現力等」の育成の場面

聞きとりやすい声量・スピード・高低などを考えさせ、声の録音を行わせる。録音したものを自分で聴き、改善をさせ、再録音をさせる。第三者となつて自分の声を聴くことで、どのような工夫をするといいいのかを考えさせる。

○ 「学びに向かう力、人間性等」の涵養の場面

何度でもやり直しをしてよいことを伝えることで、生徒が主体的に改善をしていける環境を作る。他の人が録音したものを自由に聴ける時間を設定することで、自分にとっての聴きやすいとはどのようなものなのかを考えさせたい。

◇ 単元授業計画・使用するアプリ



- 授業のポイント
- ◆伝えたい内容を明確にする。
- ◆聞き手を意識した伝え方をする。

○ICT機器の活用

◆ロイノートを活用し、録音を行う。提出もロイノートに行わせることで相互に視聴することができる。

国語 1年

単元名：調べた内容を聞く

国語科 重点目標

自分自身の考えをわかりやすく伝えるように表現を工夫する指導
～ 機器を用いた指導の実践 ～

情報化が進む現代で、学校教師より電子機器を扱うことに長けている。例年、本校では職業調べをしており、個人で新聞を作成している。そこで、まとめ新聞を「動画」の作成に替えることができる考えた。生徒たちは普段から動画サイトなどを視聴している。その作品の裏には、クリエイター側の工夫や目的・苦労がある。それらを体験する中で、効果的な伝え方を考えさせることができる考えた。そして、効果的に伝えるためには、聞くことに注目させることが有用と考えた。

学習指導要領との関連：知識・技能②イ、思考・判断・表現A1)ア、思考・判断・表現A1)ウ、思考・判断・表現A2)ア

◇ 本単元における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

○ 「知識及び技能」の習得の場面

必要な情報を収集・整理し、それを効果的に活用することを目標とする。情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うようにする。

○ 「思考力、判断力、表現力等」の育成の場面

自分の考えが相手に分かりやすく伝わるように表現の工夫をさせる。動画内のスライドの出し方、自身の話し方や身振り、アニメーションの活用などを考えさせる。そのためには、「聞き手」の視点をもたせることが効果的と考える。聞き手はそれについて質問したり、意見を述べたりする活動を行う。

○ 「学びに向かう力、人間性等」の涵養の場面

作成した動画を見て、再編集を繰り返すことでより良い作品を完成することができる。また、1時間ごとの役割や計画もグループごとに考えさせることで、計画性や社会性を育むことができる考えた。

◇ 単元授業計画・使用するアプリ

使用するアプリ



○授業のポイント

◆伝えたい内容を明確にする。

◆聞き手を意識した伝え方をする。



○ICT機器の活用

◆ノートやプリントは使わず、全てをタブレット内で行う。完成した作品はロイノート内で共有した。

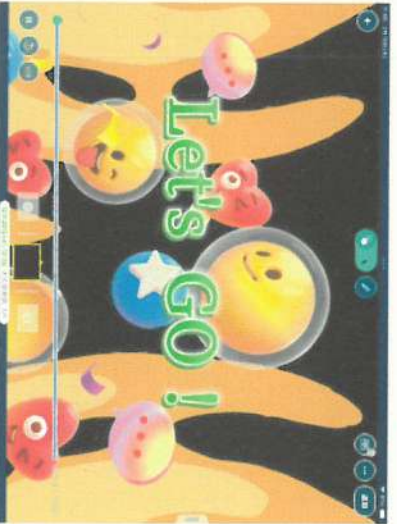
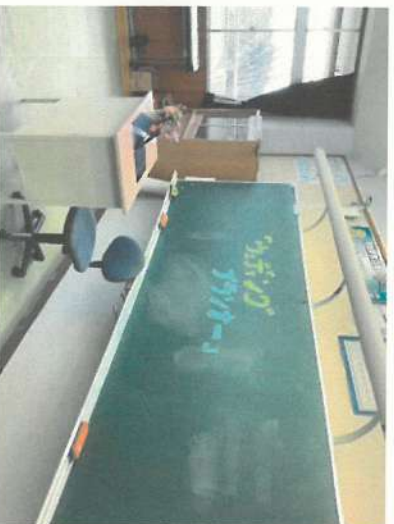
職業調べの流れ

※この資料はCanvaで作成し、ロイロノートで配付した。



職業調べの様子





(1) 気候変動 (気象災害)

気候変動は、人間の生活や経済、生物に大きな影響を与えます。気候変動は気候変動の長期変化など自然現象で生じるものもありますが、化石燃料の使用など、人間の活動に起因して「温室効果ガス」を増加し、気温や気象パターンに変化をもたらしているともいわれています。



1 認識

気温になる量は「外での活動がはたらく」。「熱中症で悩まされる人が増える」「農作物の収穫時期や量に遅れや変化が起きる」などの問題が起これやすくなります。

2 影響

本講はSDGsの「気候変動」や「気候変動を減らす」など、気候変動の目標の達成に貢献することを目的としています。

人々の活動によって地球環境に気化が起きて起こる問題のこと



環境問題とは



(1) 気候変動 (気象災害)

気候変動は、人間の生活や経済、生物に大きな影響を与えます。気候変動は気候変動の長期変化など自然現象で生じるものもありますが、化石燃料の使用など、人間の活動に起因して「温室効果ガス」を増加し、気温や気象パターンに変化をもたらしているともいわれています。



1 認識

気温になる量は「外での活動がはたらく」。「熱中症で悩まされる人が増える」「農作物の収穫時期や量に遅れや変化が起きる」などの問題が起これやすくなります。

2 影響

本講はSDGsの「気候変動」や「気候変動を減らす」など、気候変動の目標の達成に貢献することを目的としています。

国語 2年

単元名：観点を明確にして伝える

国語科 重点目標

自分自身の考えをわかりやすく伝えるように表現を工夫する指導
～ 機器を用いた指導の実践 ～

情報が溢れる現代において、集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する能力は重要である。述べたい意見の観点を明確にし、説得力のあるスピーチを目指す。まず、「課題を設定する」ことについて理解するために、身近にどのような問題が存在するかを考え、グループで意見を出し合い観点をしぼる。その際もシンキングツールを用い、整理をする。問題解決に向けて情報を集めて自分の考えを整理する際もネットの情報や日常での出来事など共有ノートを用いた話し合いによってまとめていく。その結果を、相手に伝わりやすくするために、図やグラフを用いて発表し合い、発表の仕方についても動画を利用しながら振り返りを行う。学習指導要領との関連：知識・技能②イ、思考・判断・表現A1)ア、思考・判断・表現A1)カ、思考・判断・表現A2)ア

◇ 本単元における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

○ 「知識及び技能」の習得の場面

適切なシンキングツールを選択する。そこから、様々な観点で物事を考えていく。感覚的な意見に言葉を当てはめていき、相手に伝わる表現にしていく。タブレットを用い、ネットでの意見や班の意見を述べる際に有効な情報を調べるが、情報と情報との関係について理解し、効果的な表現の仕方を学ばせる。

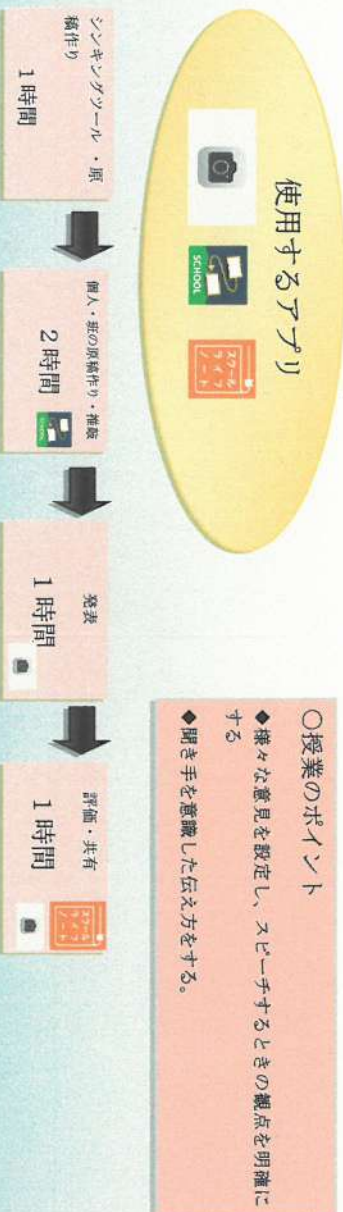
○ 「思考力、判断力、表現力等」の育成の場面

資料や機器を効果的に用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫させる。相手に伝わりやすくするために、声の大きさ、スピード、話す姿勢(視線)に注意して、図やグラフを用いて発表させる。

○ 「学びに向かう力、人間性等」の涵養の場面

意見に対しては絶対的な正解がないという点を伝え、自身の伝えたい内容を大切にし、意見を述べることを伝える。興味のある内容に対し、仲間と意見をまとめ、説得力のある発表の実現へと主体的に動いていくことで、話すことの楽しさ、聞くことの大切さに気付かせたい。

◇ 単元授業計画・使用するアプリ



○ICT機器の活用

◇ロイロノートのシンキングツールを使用し、まずは意見のまとめ方を学ぶ。共有ノートを使い、シンキングツールでの思考や、各班の発表までの班別活動も一部の生徒のみではなく、集団で行えた。

18-08 5月15日(木)

組 番 氏名 ()

班の発表	評価 よかった点など・・・
発表技術(声の大きさ・速度・分かりやすさ)	A ・ B ・ C
内容(スライド・内容)	A ・ B ・ C
感想	総合 A ・ B ・ C

18-02 5月10日(木)

二年 組 番 氏名 ()

「製品説明書」について

_____の立場からの意見

_____の立場からの意見

_____の立場からの意見

_____の立場からの意見

20

18-01 5月15日(木)

構成をまとめて主張をまとめる

① スピーチをする。聞き手は、構成について工夫されていたことを振り返る。
 ・「まず、...です。いちばんは、...です。」
 ・「伝えたいことは〇〇があります。まず、...です。次に...です。」
 ・「まとめると、...です。」
 ※前置きして強調したり、聞き手の心の準備をさせたり、明瞭化したりする。

② 自分たちの主張に説得力をもたせられるように、全体の構成・展開を検討する。↓
 ロイロノートで行う。意見を並び替えながら、スピーチ原稿の構成を整える。スピーチにあるスライドも数枚用意する。(3、4分の内容にまとめる。)

例：最先端の最先端についての構成を組み立てる。↓ 教育関係者

③ 社会生活の中からテーマを決める。
 ・フイドロス問題
 ・女性の社会進出 子育て中の仕事への取り組み方など。
 ・チャットGPTの利用について
 ・配膳ロボットなど、AIによる職業代替

【学】社会生活の中から自分たちで課題を見つけ、主張をまとめる。
 自分の立場や意見を明確にし、説得力のある論理や話の構成になるように工夫する。

構成をまとめて主張をまとめる

「組」氏名 ()

19-02 5月15日(木)

アイデアの出し方

「アイデアの出し方」

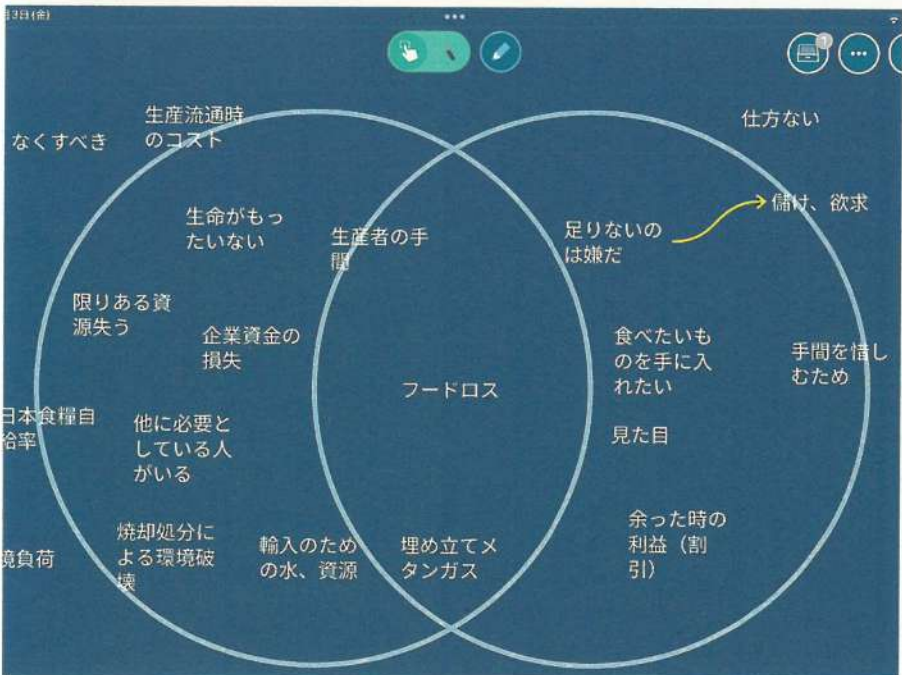
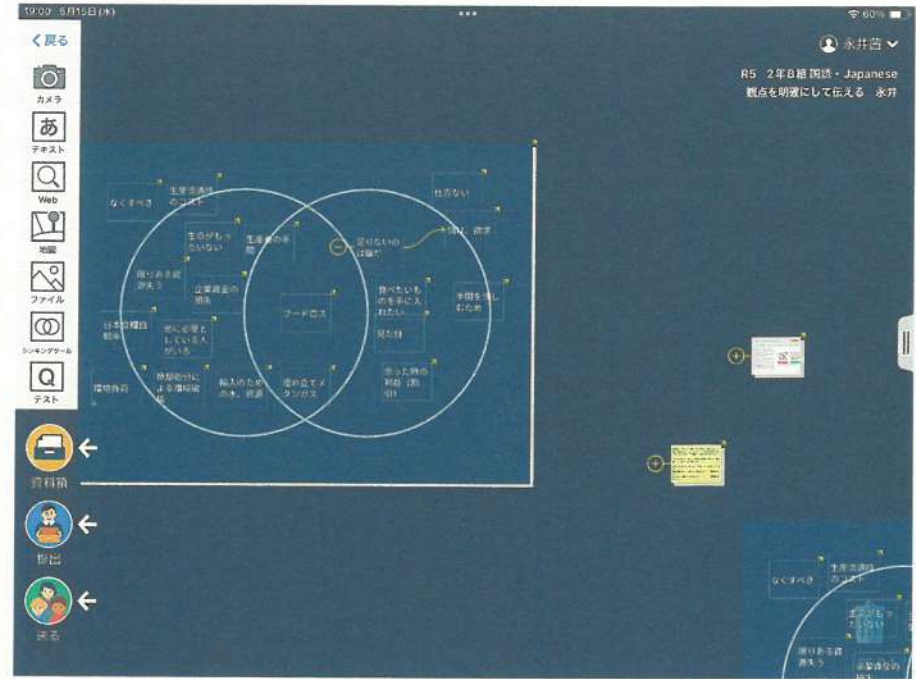
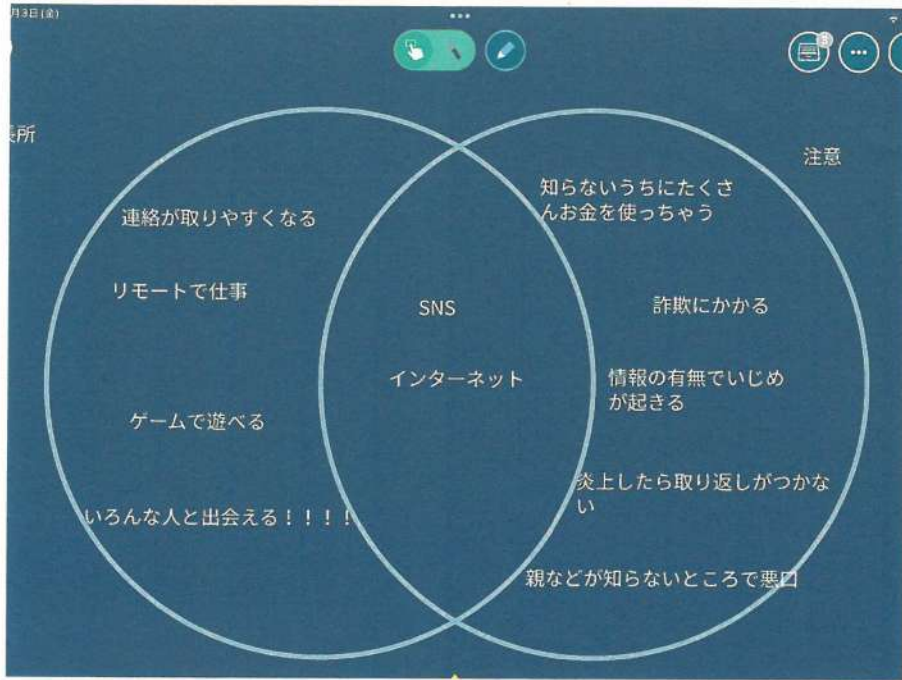
キーワードから思いつく言葉を探してみよう。言葉のつながりや、イメージのつながりから、アイデアを出してみよう。

例：地域への提言

例：地域への提言

カードに書き出したアイデアをまとめるための方法は、関連するカードをグループにまとめ、グループ名をつける。アイデアが整理され、思考の結果がよくわかる。

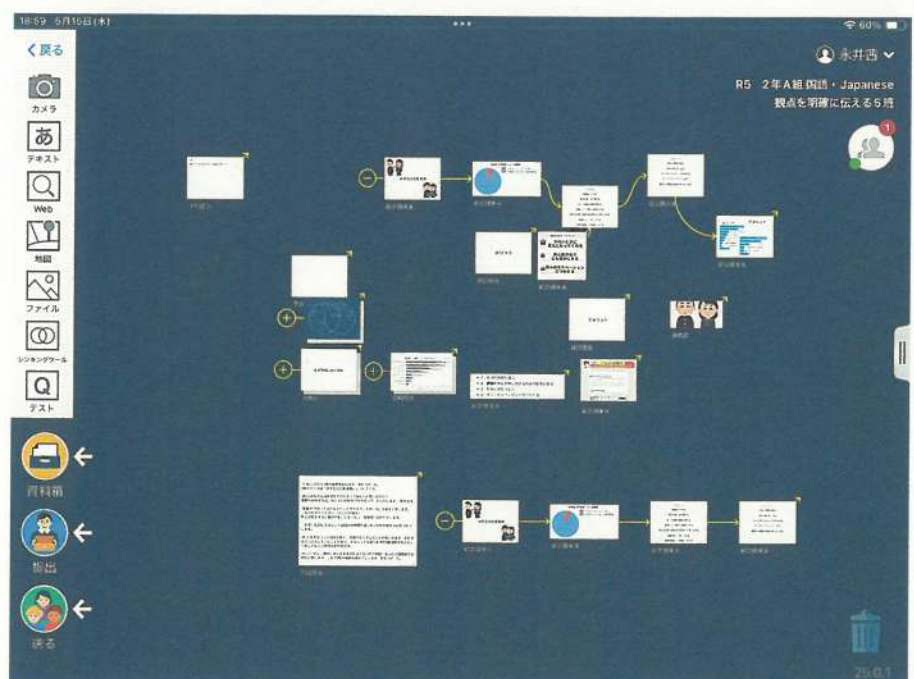
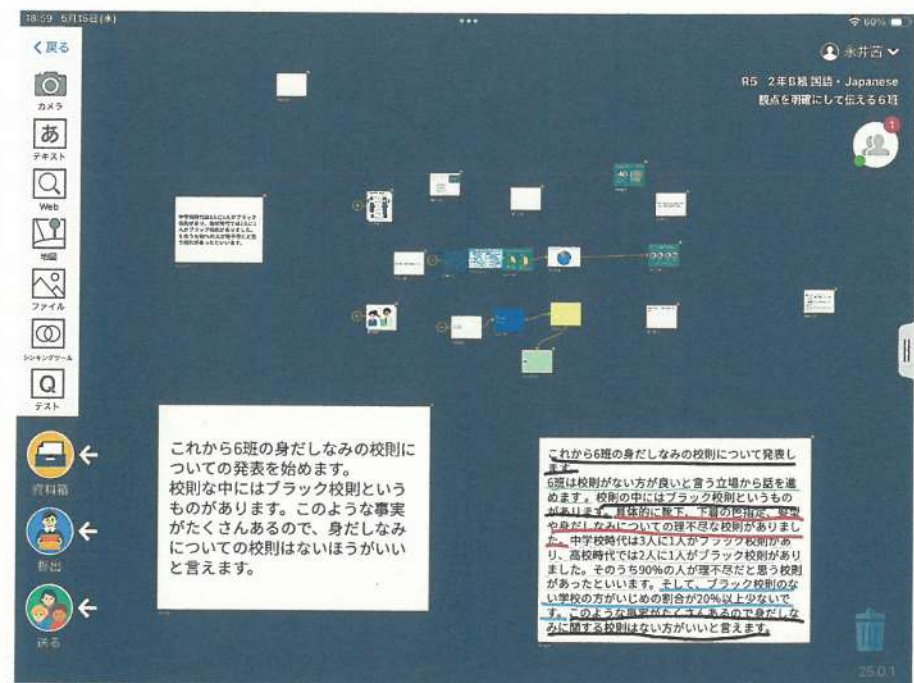
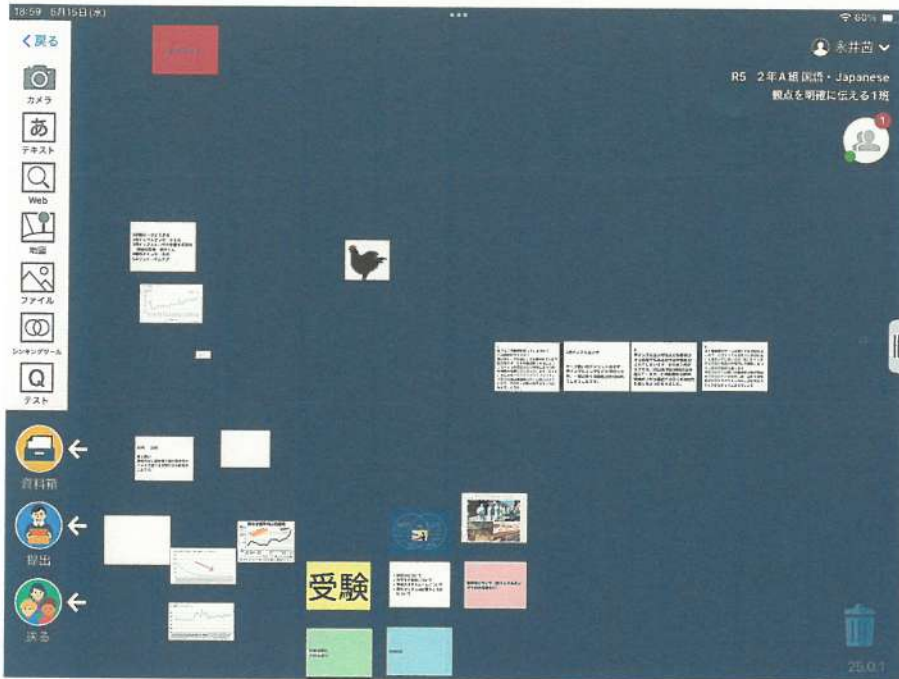
【組】氏名 ()



観点を明確に伝えるシンキングツール

回答共有中 一括返却

2023年6月21日(水) 10:00



国語 2年

単元名：二千五百年前からのメッセージ

国語科 重点目標

自分自身の考えをわかりやすく伝えるように表現を工夫する指導
～ 機器を用いた指導の実践 ～

漢文という馴染みの薄い文章に触れる機会において、音読を通じてリズムを味わったり、調べた内容を発表したりすることは学習者にとって楽しさを感じるきっかけになる。表現を確かめながら、内容について調べ学習をし、自分の考えをICT機器を用いてまとめめる。文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。そのような活動にはタブレット端末が大いに活用できると考える。

学習指導要領との関連：知識・技能(3)ア、思考・判断・表現A(1)ウ

◇ 本単元における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

○ 「知識及び技能」の習得の場面

好きな孔子の言葉を教科書掲載のもの以外にも探して、『論語』の言葉で心に響いた表現や内容についての知識を増やす。紹介し合う。読み方、発音についてもわからない部分はインターネットにて調べてみる。

○ 「思考力、判断力、表現力等」の育成の場面

調べ学習をもとに、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しませる。古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりできるように班内で考えさせしていく。

○ 「学びに向かう力、人間性等」の涵養の場面

粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、解釈したことを仲間に広く知らせるように表現させる。

◇ 単元授業計画・使用するアプリ

使用するアプリ



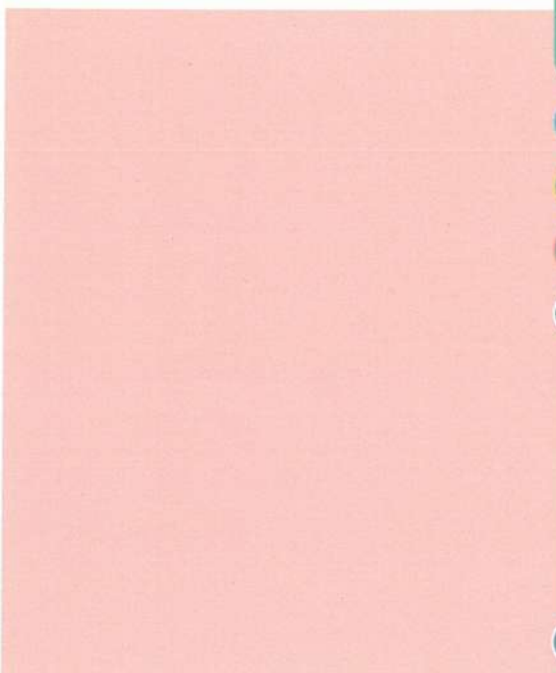
○授業のポイント

- ◆役割分担を適切に行う。
- ◆発表が伝わるように声の大きさ、間の開け方、スピードなども気を付ける。



○ICT機器の活用

難しい内容や、量が多い資料をインターネットを適宜使用することで、論語を身近に感じる生徒が多かった。相手意識を持つことで、調べ学習に目標を持つことができた。



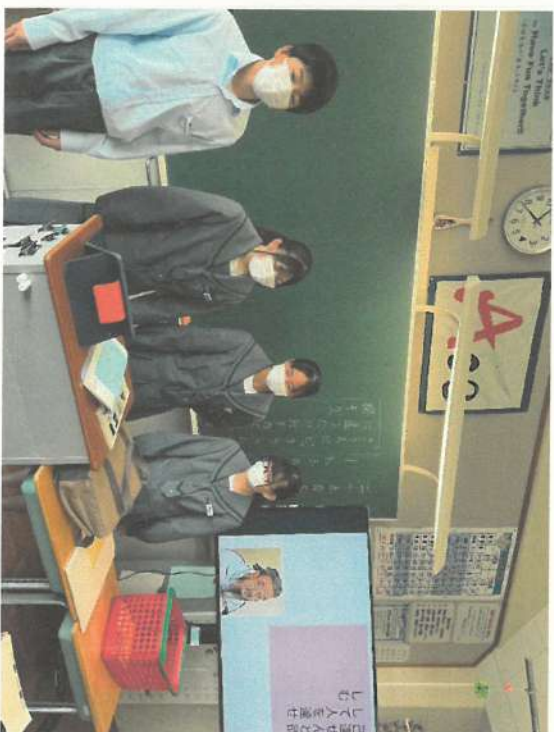
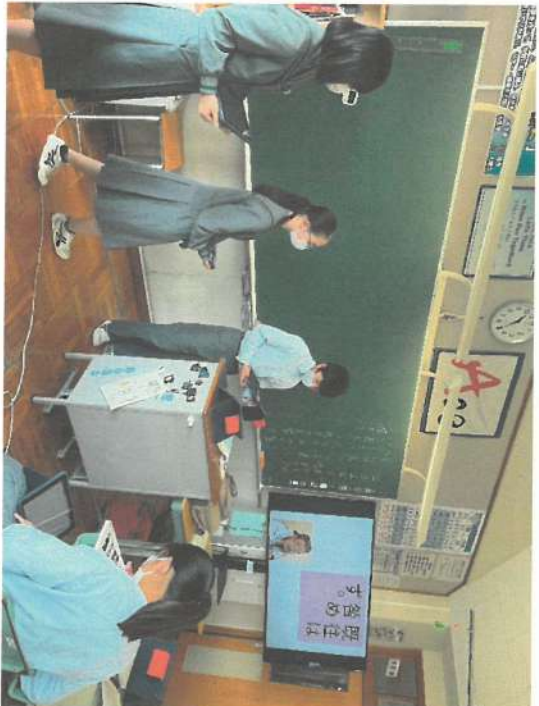
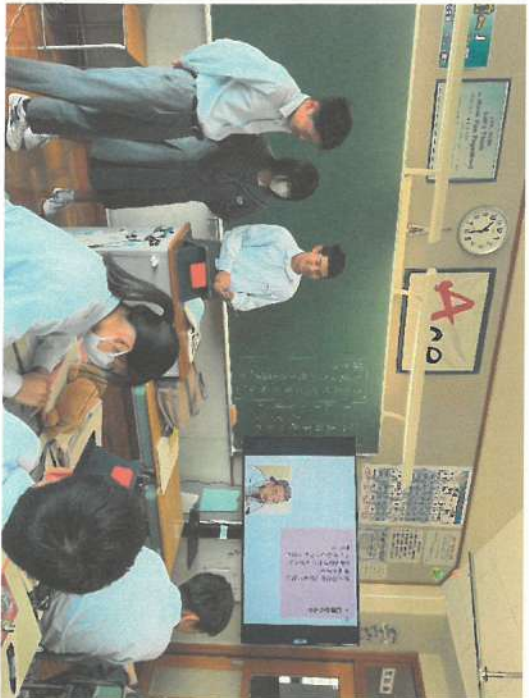
19:00 5/15(木)

60%

書きた文	内容	書きた文	内容	書きた文	内容	書きた文	内容	書きた文	内容

二千五百年前からメッセージ く孔子の言葉く





国語科 重点目標

自分自身の考えをわかりやすく伝えるように表現を工夫する指導
～ 機器を用いた指導の実践 ～

これまでの学習で身につけてきたさまざまな語句を振り返りつつ、話の中でどのように使用されているか、自分が理解したり表現したりするときにはどのように用いられればよいかについて考えられるようにする学習である。特に慣用句や四字熟語について、やりとりの中で文脈のみに即して使用することで、生きてはたらく知識となるようにしたい。

学習指導要領との関連：知識・技能(A1)イ、思考・判断・表現(A1)ア、思考・判断・表現(A1)イ、思考・判断・表現(A2)ア

◇ 本元における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

○ 「知識及び技能」の習得の場面

理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

○ 「思考力、判断力、表現力等」の育成の場面

目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。

○ 「学びに向かう力、人間性等」の涵養の場面

積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって提案しようとしている。

◇ 単元授業計画・使用するアプリ

使用するアプリ



課題の発見・役割決め

1時間

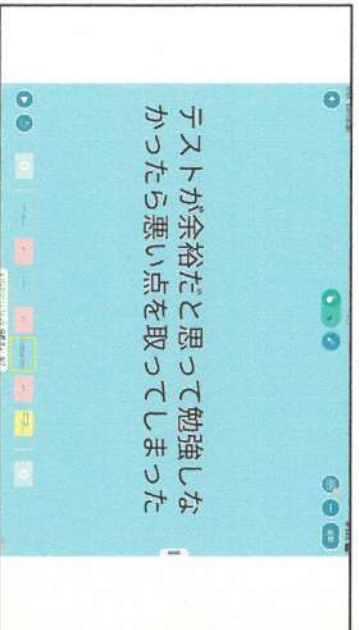
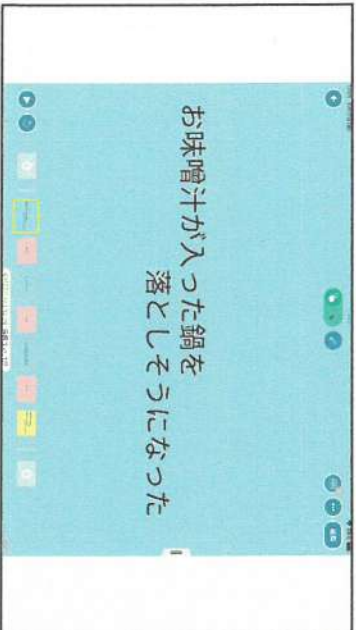
○ICT機器の活用

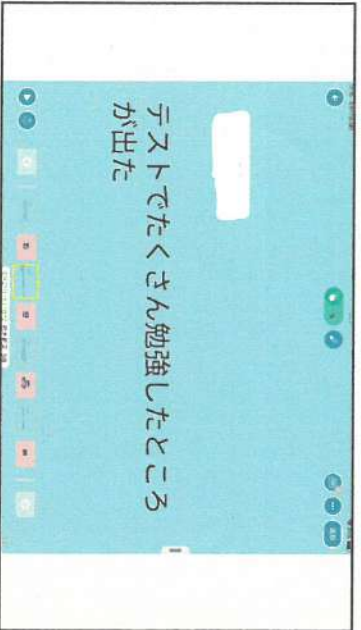
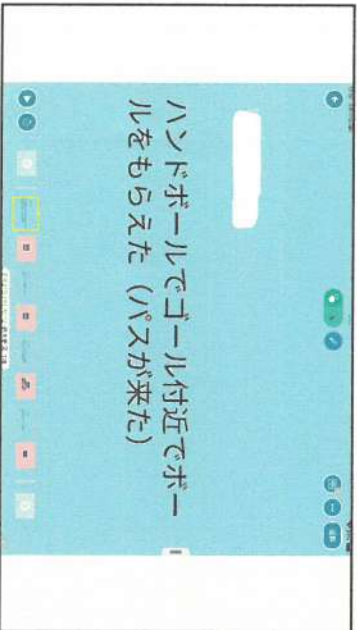
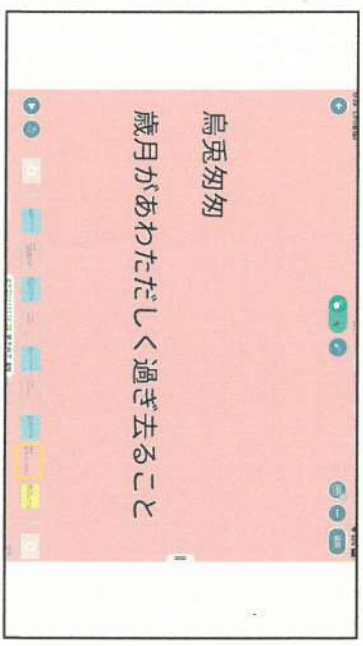
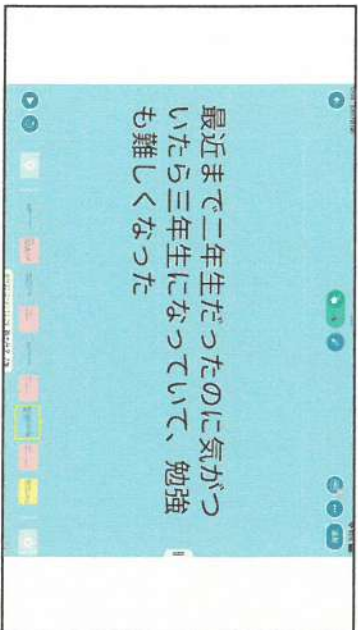
◆ロイロノートを活用し、1つのグループは3・4人で構成し画面共有する。聞いた話の内容を慣用句や四字熟語に要約して意見を交換し合い、より適切な語彙を選ぶようにさせた。

○授業のポイント

◆相手の話を聞いて慣用句や四字熟語を用いて一言に要約する。

◆抽象化と具体化を経て、体験談を語りつなげていく。





国語 3年

単元名：意見を共有しながら話し合う

国語科 重点目標

自分自身の考えをわかりやすく伝えるように表現を工夫する指導
～ 機器を用いた指導の実践 ～

「持続可能な社会の実現に向けて私たちができること」というテーマに対して、納得できる結論を導き出すために、お互いの発言の共通点や相違点を整理することで、「一般化」という思考をはたかせて、合意形成に向けて話し合うことを目的としている。この思考方法によって、お互いの考えを尊重し、その考えの根拠が妥当であるかを評価することとなる。

学習指導要領との関連：知識・技能(1)エ、知識・技能(2)ア、思考・判断・表現A(1)ア、思考・判断・表現A(1)エ、思考・判断・表現A(2)イ

◇1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

○ 「知識及び技能」の習得の場面
具体と抽象など情報との関係について理解を深めることができる。

○ 「思考力、判断力、表現力等」の育成の場面
目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。

○ 「学びに向かう力、人間性等」の涵養の場面
積極的に相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。

◇ 単元授業計画・使用するアプリ

使用するアプリ



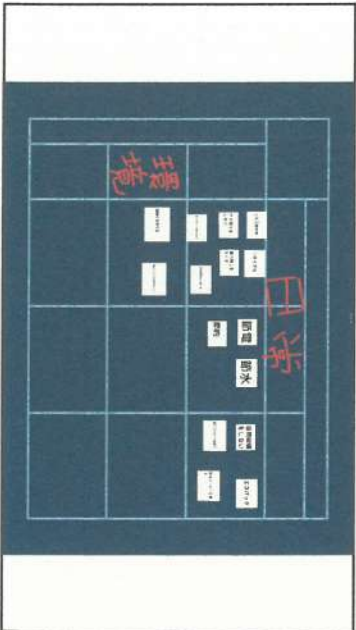
○授業のポイント
◆相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。
◆話し合いの進行の仕方を工夫して、合意形成を行う。

課題の確認・「一般化する」

1時間

○ICT機器の活用

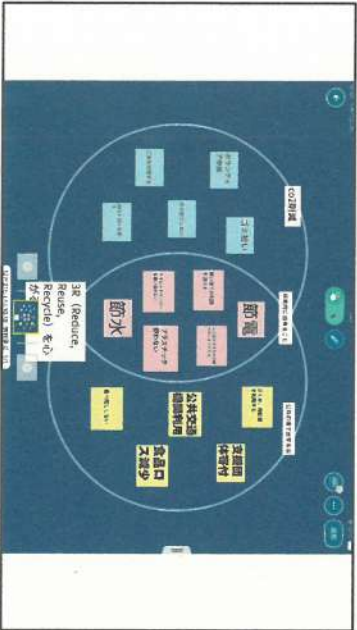
◆ロイノートを活用し、1グループ3・4人で画面共有しながら「一般化」していく。環境問題や資源の有限性について、自分が興味・関心をもっていることを具体的にあげ、その中から持続可能な社会の実現に向けてできることについて考えをまとめさせた。



1



2



3

持続可能な社会のために

リネオス
 ・無駄なものを減らす
 ・無駄をなくす、ゴミを減らす、マイバツクを所有

リサイクル
 ・ゴミ分別する、ペットボトルを洗って再利用する、ペンはインクだけ交換する

日本政府がやること
 ・政策
 ・再生可能エネルギー一貫生産施設を作る、全ての国と仲良くする、電気自動車を推奨

自家発電

4



5



6

6 成果と課題

実践を行った生徒に対して、令和5年度全国学力・学習状況調査と同様の調査をした結果と三学期実施の成田市学力状況テスト結果は以下の通りである。

表の見方は以下の通りである。

- 1 段目 実践後の学校生徒の割合(%) 2 段目：令和5年度の学校の生徒数の割合(%)
 3 段目 都道府県(公立)の生徒数の割合(%) 4 段目：全国(公立)の生徒数の割合(%)

質問 番号	質問事項	選択肢 1 あてはまる 2 どちらかというにあてはまる			
		3 どちらかというにあてはまらない	4 あてはまらない		
(33)	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	1	2	3	4
		80.1	16.7	2.8	0.4
		78.4	17.2	3.0	0.7
		17.9	33.7	32.9	12.3
(34)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つかと思いますか	28.1	33.0	26.4	9.6
		71.4	26.1	1.5	1
		70.9	25.4	2.2	1.5
		56.7	36.6	4.6	2.0
		58.7	34.6	4.5	2.0

年度末に向けてICT機器の利用の頻度、幅が増え、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」が増加した。2月に行われた研究実践発表会に向け、プレゼンテーションの技術が教科を超え、学校全体の活動において向上した。

表の見方は以下の通りである。

- 1 段目 実践後の学校生徒の割合(%) 2 段目：令和5年度の学校の生徒数の割合(%)
 3 段目 都道府県(公立)の生徒数の割合(%) 4 段目：全国(公立)の生徒数の割合(%)

質問 番号	質問事項	選択肢 1 あてはまる 2 どちらかというにあてはまる			
		3 どちらかというにあてはまらない	4 あてはまらない		
(36)	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	1	2	3	4
		61.2	32.2	3.2	3.2
		15.7	34.3	25.4	17.2
		21.0	38.9	24.6	12.3
		21.9	40.2	23.6	11.2

(48)	国語の勉強は大切だと思いますか	70.7	26.6	2	0.7
		70.1	26.1	2.2	0.7
		57.8	33.8	5.9	2.2
		60.0	32.4	5.3	2.1
(50)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	60.3	32.1	5.6	2
		59.7	32.1	6.0	2.2
		49.1	38.0	9.5	3.1
		52.3	36.4	8.3	2.7
(52)	国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか	32.2	41.9	19.3	6.4
		16.4	47.8	28.4	6.7
		17.5	45.0	29.9	7.1
		19.3	46.6	27.2	6.4
(53)	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	32.2	56.2	9.6	2
		17.9	45.5	26.9	9.0
		17.2	43.3	30.6	8.3
		19.4	44.5	27.9	7.6

国語科の授業においても年間を通じて計画性を持ち機会を重ねてきた結果、話す際の話題提示や話し方の技能への苦手意識が薄らいだ生徒が多くなった。(36・52・53) また、発表にむけての小グループの話し合いでの原稿を作る作業やアイデアをまとめる作業によって、相手の意見を「聞くこと」「まとめること」の経験も積み重ねることができた。

三学期実施の成田市学力状況テスト結果は以下の通りである。

設問	出題のねらい	目標	本校	全国
1	論理の展開に注意して、話し手の考えを聞いている。	85.0	88.3	89.5
1	資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	75.0	80.0	82.3
1	論理の展開に注意して、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	45.0	48.3	47.3
6	情報と情報との関係について理解し、読み手の立場に立って、文章を整えている。	40.0	46.7	39.0
6	伝えたいことがわかりやすく伝わるように、文章の構成を工夫している。	65.0	79.2	70.6
6	情報と情報の関係について理解し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	55.0	58.3	58.0

「話す聞く」の観点で目標値を上回り、ICT機器の有用性を実感した。

《成果と課題》

- 機器を用いることで思考の元となる考えに出会う機会を設けることができた。そのため、熟考することができ、より深い考えを生み出すことができた。
- 実際にペンで字を書く作業が苦手であった生徒も自身の考えをアウトプットする際の困難が減り、素直に考えを表現する術を身に着けることができた。
- 共有したい内容も容易に共有でき、学び合いの機会を多く持つことができた。そこから、生徒の自信も生まれた。
- 振り返りによって客観視することができ、生徒自身で課題を見つけ改善することができた。そこから、なんとなく「話すこと」は苦手だという自信のなさから脱却することができた生徒が多くいた。
- 振り返りとして質問や話の内容を考えながら聞くことが出来、聞く能力が伸びた。
- スライドを見ながら話を聞くことで、話のポイントを押さえて話を聞くことができた生徒の姿がみられた。
- 意見の形成の際、参考にした意見の精査の程度に個人差があった。情報利用の方法もさらに考えていかなければならない。(ChatGPTの利用も今後は行っていく。)
- 録画・録音に対して緊張感を持ってしまいう生徒がいた。
- スライドの作成に力を入れ過ぎてしまいう生徒がいたので、教科としての目的、単元の学習目標を見失わないように、振り返りをしっかり行うことが重要であった。
- スライドの情報に頼りすぎる生徒もいたので、言葉だけでものごとをとらえる能力の育成という点は検討が必要である。

今回の研究を通じて、『話す聞く』の相互作用について考えた。伝えるためには聞く力を必要とし、聞き手のことを意識しないと話す力もつかないということを意識して、両者の力を一体として伸ばせる授業が行えるよう今後も尽力していきたい。